

私たちが慎重に チェック

委員会 審議

予算決算常任委員会

主な審議内容

26年度一般会計予算について、3日間にわたり慎重に審査しました。

歳入では、町税の確保と滞納繰越分、地方交付税について多くの質疑がありました。

歳出では、職員の時間外手当、職員数、臨時職員数、各課で発注する除草委託料、防犯灯リース料、各種補助金、南下城山防災公園の補償費など活発に、審議が行われま

した。

【質疑】

問 町民税などの滞納繰越分の徴収は。

答 数年前に職員を増員し、収納率は92.3%に改善されている。

問 除草委託料の発注一元化と経費削減は。

答 入札条件の整合性をはかった。今後削減に努めていく。

問 防犯灯のLED化はどのように、進めるのか。



幼児教育の拠点 保育園

答 10年のリース契約で、9月までに940灯をLEDに変える。電気代は半額になると見込んでいる。

問 職員の時間外手当はどうなっているか。

答 削減に努めている。ノー残業デーを月2回から週1回に増やした。

問 各種補助金があるが、事業内容に見合った適切な交付がなされているか。

答 補助金交付要綱については整備した。26年度も審議会に諮問を予定している。

問 私立保育所の施設整備補助金が多額だが、手狭になり、老朽化した第4保育園を改修する。

答 私立保育所の施設整備補助金が多額だが、手狭になり、老朽化した第4保育園を改修する。

修する。

当委員会として次の要望をまとめ、まちに提出しました。

- ① 南下城山防災公園の土地取得および建物補償については、住民に誤解を与えないよう最大限の減額に努められたい。
- ② 一般会計予算の年度半ばでの執行の進捗状況を報告願いたい。

問 城山防災公園の補償費は多額である。レポートを2カ所から1カ所にして費用を削減することとは。また、補償費の発生しない土地を他に求めることは。

答 広場としては適地であり、平常時の多目的広場が、2カ所と考えている。

問 補償費の大半は豚舎などであり、多額と思うが。

答 推定建築工事費に、経過年数に応じた現価率を考慮している。補償費の削減には最大限の努力をする。

Ⅱ 全会一致で可決Ⅱ



防災備蓄倉庫（防災公園：浜松市）

総務常任委員会

主な審議内容

25年度一般会計補正予算を含む議案5件を審査しました。

【質疑】

問 財政調整基金繰入金の減額は、

答 事業を精査することにより減額することができた。

問 新ナンバー導入推進事業負担金の減額は、

答 事業決算が減額された。26年度中には実施できる。

問 八幡山グラウンド用地の買い上げおよび

答 借地などの進捗状況は、

答 9人の地権者の方々のご協力を得て用地

買収および借地の契約をさせていただいた。

問 大雪による見舞金について、証明書などを省略し支払うことはできないか。

答 公金なので証明書などなしに支払うことはできない。

産業建設常任委員会

主な審議内容

議案11件について審査しました。

【質疑】

問 公共下水道事業特別会計の県央処理区維持費管理負担金が、105

答 2万円減額補正されたが、県が水質・放射能測定を外注から専門職を配置した結果、総額で1億円程度節約できた。

問 町道認定路線が、多いが、

答 ほとんどが開発関係だ。寄附条件は道路幅4.5mと側溝が必要だ。

問 農業集落廃水事業関連で、放射能が検出

答 されなければ炭化処理は行つか。臭気は大丈夫か。

答 試験運行を予定している。臭気に関しては測定しており、臭気指数の基準値以内である。

問 将来的には県央処理場につながるのか。

答 接続したほうが経済的だが県の認可が必要だ。

問 まちの下水処理の状況は他の自治体と比較してどうか。

答 汚水処理人口普及率は93・4%で、上野

村に次いで第2位だ。

問 昨年度水道料金を値上げしたが、苦情はなかったのか。

答 今のところない。ただ、節水型家電などが普及し、水道の使用量は減っている。

文教厚生常任委員会

主な審議内容

議案7件について審査しました。

【質疑】

問 学校給食費の補助額は消費税増税分の

答 3%程度でよいのか。物価変動分については考えていない。その分は給食センターでいろいろ工夫し提供している。

問 一般被保険者国民健康保険税の滞納が減

答 額しているか。24・25年度と、過年度の滞納繰越分が減り、26年度はさらに減るものと考ええる。

問 介護保険事業特別会計予算で26年度大きく変わったところはどこか。

答 介護保険事業特別会計予算で26年度大きく変わったところはどこか。

問 居宅介護サービス受給者が昨年より50人も増加し計450人になった。予算は25年度より79

答 53万円増加した。後期高齢者医療事業特別事業会計で対象者は何人か。

答 対象者は1955人である。



県央第一水道にて

人権擁護委員候補者に
栗田さん



栗田真佐代さん
(漆原・57歳)

人権擁護委員に栗田眞佐代さん（漆原・57歳）を推薦する町長の諮問に対し、議会は全会一致で適任と認め答申しました。

人権擁護委員は人権相談や人権思想の啓発活動などを行うもので、任期は3年です。

議会推薦農業委員に
大島さん、大澤さん

4月26日で農業委員が任期満了となることにもな
い、大島美江子さん（大久保・62歳）、大澤千枝子さん（北下・56歳）を議会推薦の農業委員として決定しました。

これは、農業委員会等に関する法律で、「市町村長は選挙による委員のほか、議会が推薦した農業委員会の所掌に属する事項につき学識経験を有する者4人以上を選任しなければならぬ」という規定にもとづくものです。

請願・陳情

3月定例会には陳情2件が提出されました。

陳情	申請者	結果
「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかなる制定を求める意見書に関する陳情	日本労働者協同組合連合会 北関東事業本部エリアマネージャー 村上 博典	継続審査
政治倫理条例施行に係る『南雲吉雄議員』の社会福祉法人吉岡会理事長職の任期満了までの継続特例に関する陳情	社会福祉法人 吉岡会 吉岡町保育園園長会 代表 吉岡町第三保育園 園長 河合 祖信 吉岡町第四保育園 園長 柴崎 尚長	不採択

3月

平成25年度 各会計別補正予算の状況
補正予算

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（第4号）	2,783万円	67億3,785万円
一般会計（第5号）	▲3億9,685万円	63億4,099万円
一般会計（第6号）	800万円	63億4,899万円
公共下水道事業	▲1,518万円	3億8,018万円
国民健康保険事業	766万円	21億6,136万円
農業集落排水事業	▲1,005万円	1億3,592万円
住宅新築資金等貸付事業	278万円	644万円
介護保険事業	1,000万円	11億7,701万円
後期高齢者医療事業	769万円	1億5,171万円
水道事業会計		
収益的収入	▲650万円	3億9,108万円
収益的支出	55万円	3億9,153万円
資本的支出	▲1,135万円	1億8,676万円

会議録の閲覧



皆さんの傍聴をお待ちしています

次の定例会は6月上旬の開会を予定しています。

議会の詳しい内容は、吉岡町図書館に備えてある会議録をご覧ください。
平成21年第1回定例会以降の会議録は、吉岡町ホームページでもご覧になれます。